

令和8年6月2日

データサイエンス・オンライン講座  
「社会人のためのデータサイエンス入門」の受講者募集開始  
—令和8年8月4日リニューアル開講—

総務省は、統計リテラシー向上の取組として、“データサイエンス”力の高い人材育成のため、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」を令和8年8月4日（火）からリニューアル開講することとし、本日から受講者の募集を開始します。

今回、ビジネスにおけるデータサイエンスの活用事例や公的データの実践的な使い方等の内容を充実させてリニューアルを行いました。是非御受講ください。

○講座の概要

統計学の基礎や統計データの見方等、統計データ分析の基本的な知識を学習します。これからデータサイエンス力を身につけたい全ての社会人・大学生に最適な入門編講座です。

平成27年3月に開講し、これまで延べ約23万1千人に受講していただきました。

○開講期間

令和8年8月4日（火）～10月6日（火）（予定）

○受講登録

本講座紹介用ウェブサイト（<https://gacco.org/stat-japan/>）において、どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）ですので、是非御登録ください。

※ 受講登録は令和8年9月14日（月）までの予定です。

（別紙）

データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」の概要

（連絡先）

統計局統計情報利用推進課

担当：高橋 入江 丹野

電話：03-5273-1023（直通）

E-mail：y-senryaku\_atmark\_soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しています。メールを送る際に「\_atmark\_」を「@」に直して入力してください。）

講座の目的：統計学の基礎や統計データの見方等、統計データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用に使役する

開講期間：令和8年8月4日（火）～10月6日（火）予定

学習時間：1回10分程度×6～9回程度（1週間）×4週

課題：各週の確認テストと最終課題の実施

講師：安宅和人氏（慶應義塾大学環境情報学部教授）ほか



週	各週のテーマ	内容
1	統計データの活用	統計データを用いた分析事例を知り、統計リテラシーを学ぶ (大人がデータサイエンスを学ぶべき理由、データから見る経済、統計リテラシーとは何か等)
2	統計学の基礎	データ分析に必要な統計学の基礎を学ぶ (データの種類、代表値、分散・標準偏差、相関係数、回帰分析、標本分布等)
3	データの見方と表し方	データの見方と適切なグラフの選び方を学ぶ (比率の見方、時系列データの見方、グラフを作る時・読む時の注意点等)
4	公的データの使い方	誰もが使える公的統計データの取得方法と使い方を学ぶ (公的データとは、e-StatやjSTAT MAPの使い方、本講座のまとめ等)

※ 今回、第1週及び第4週の学習内容について、ビジネスにおけるデータサイエンスの活用事例や公的データの実践的な使い方等を充実させてリニューアルを行いました。

### ▶ 講座の流れ

講義動画



確認テスト及び最終課題



修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

### ▶ 今年度開講予定のデータサイエンス・オンライン講座

#### 「社会人のためのデータサイエンス入門」

(講座の特徴)

統計データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

(開講予定時期)

令和8年8月

(学習時間)

1回10分程度×6～9回程度  
(1週間)×4週

(実績)

社会人を中心に延べ約23万1千人が受講

#### 「社会人のためのデータサイエンス演習」

(講座の特徴)

「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

(開講予定時期)

令和8年10月

(学習時間)

1回10分程度×5～7回程度  
(1週間)×5週

(実績)

社会人を中心に延べ約10万7千人が受講

#### 「“わかる・使える”統計解析プログラミング」

(講座の特徴)

Pythonを使った演習を通じて、統計解析の基礎知識やデータの活用方法まで学べる講座

(開講予定時期)

令和9年1月

(学習時間)

1回10分程度×5～7回程度  
(1週間)×4週

新規開講